



キッセイ薬品工業株式会社 研究本部 創薬化学研究所 創薬化学研究グループ 吉田 正子

私は2023年7月から半年間、女性リーダー育成プログラムに第2期生として参加しました。異業種のメンバーや、経験したことのないプログラム内容に、当初は不安を感じていましたが、結果的に、私の価値観が大きく変化する貴重な半年となりました。

プログラム前半では、一人の参加者が提供したリアルな経営課題に対して、他のメンバーが解決策を提案するワークを行いました。他人の課題を自分事として本気で考える必要があり、異業種だから状況が分からない、情報が少ないという言い訳はできません。正直、最初は何をどうしたら良いかわからず皆で戸惑いました。しかし振り返ってみると、それぞれ仕事や家庭がある中でどう時間を確保するか、限られた時間の中でどのように議論して決断するか、質問力、理解力、想像力、本質を見極める力、折衝力、何を実現したいか・どう実現するか色んな角度から考えて決めること等、「視座を上げて考える」ということに紐づくあらゆる要素において訓練できたように感じます。

後半のコーチングとメンタリングでは、「私自身」にフォーカスし、より深い気づきを得ることができました。自分自身に向き合うことは最も怖いことでもあります、向き合わなければ何も変わらないと自分に言い聞かせて臨みました。先生方とお話する中で、自分の価値観と思考の癖を認識でき、今後の成長のためにアプローチすべき方向性を少し掴めたように思います。特に、人に対する考え方は学ぶことが多く、組織=人であるという価値観は、常に根底に持って行動するよう心がけています。

受講後、私はマネジャーに昇進しました。プログラムの中で瀬畑先生が「なってからでは遅い」と繰り返し仰っていたことは、いざマネジャーになって初めて本当の意味を理解したように思います。これまでの自分のままでは不十分で、まずは私自身が変わることが最大の課題であると、あらゆる場面で痛感しました。しかし本プログラムを受講していたおかげで、新しい役割を果たすにはどう行動したらよいか、最小限の動揺で頭を切り替えることができています。

本プログラムを通じて出会った同期とは、今でも定期的に交流を続けています。美味しい食事とお酒を楽しみながら「受講中は大変だったよね」と振り返ったり、現況を共有し合っています。彼女たちとの交流は、私のモチベーションの維持と成長において欠かせないものとなっています。

このような貴重な機会を与えていただいたことに改めて感謝し、今後もこのプログラムを通じて得た学びと気づきを定期的に見直して「その時の私」なりに噛み砕き、常に自分をアップデートし続けるとともに、組織全体の成長に貢献していきたいと思っています。